

『水前寺清子さんと紅白歌合戦のトリと原発』の関係

皆様、少し遅いですがあげましておめでとうございます！

ついに昇り竜の年になりました。2011年は日本を揺るがすような震災の年であり、また自分自身も年男の兎年でしたので、三千人の震災チャリティー挑戦という、目をつむって思い切りジャンプするような無茶な挑戦もしてまいりました。今年はその培った経験をもとに、より一層本業を飛躍させ、また一回り大きな社会貢献ができるように会社と自分自身と社員をスパイラルアップさせていきたいと思ひます。

昨年は『一步踏み出す勇氣』というものを常に意識してやってきました。そしてこれは本当に難しいテーマだなあと思ひました。意識しているときはできるのですが意識していないときは知らず知らずに後ろに踏み出していたり、そういう自分に突然気づいてまた前に踏み出してみたり、年始に長島スパランドで水前寺清子さんのライブステージを見たのですが、まさに『三步進んで二歩下がる』的なテーマだと感じました。でもそれでいいのだとも感じました。人生そんなに調子よく思ったように進むものでもなく、汗かきベそかき歩き、そしてその足跡にきれいな花が咲く。もう新年早々人生応援歌のオンパレードの水前寺清子節に酔いしれてしまいました。

なんで昨年の紅白歌合戦に水前寺さんが出れなかったのか不思議ではしなかつたです。

昨年の清水寺の一字が『絆』であろうことはほぼおおよその日本人が予想していたように、紅白の出場者も日本人の深層意識から吸い上げて選考するべきだと自分は強く主張します！

というわけでいつの間にか話題が紅白歌合戦のほうに移りましたので、昨年の紅白の振り返りをしておきたいと思ひます。2011年の紅白のテーマは『1231あしたを歌おう。』でした。まさに水前寺さんがトリを取るにふさわしいテーマだったので非常に残念でした。でもせめてトリは紅組なら和田アキ子さんか松任谷由実さん、白組なら長渕剛さんか西田敏行さんに取らせてもらいたかつたです！



それはなぜか？

なぜならこの4人の方々は歌を歌うのではなく、歌を通して東北に祈りをささげていたからです。

和田さんと松任谷さんの祈り終えた後の顔は全く同じ顔をしていました。

卑弥呼が邪馬台国の行く末を案じて鹿の骨や亀の甲羅を使って祈禱をし終え崩れ去った時の表情とでもいいましようか。(いや、本当です。もう十数回ビデオで確認してますから保証します！)

長渕さんに至ってはトークがお茶の間と全クリアリティーが噛み合っていませんでした。

なぜか？

それは非日常の世界をずっと東北の人とともに彷徨っていたからだと思ひます。

こちらの世界にいる時もいつも東北の人たちの気持ちに寄り添って、

そして寄り添えない自分がいてそれを責め、そしてまた寄り添い、

そんな9か月を過ごしてこられたのだなあと感じました。そしてなにより、

18歳の時に作った『逆流』と全く変わることはないハーモニカの音色に感動しました！

西田敏行さんはただただそこに居れる人です。紅白の舞台とか全然関係のない人です。

本当に凄いな人です。天竺から經典をめでたく持ち帰られたのだと思ひます。

そんな実力者ぞろいの中、白組のトリを取ったのがSMAPさんです。どうなんでしょうかみなさん？オンリーワンの味わいなのでしょうか？

日本を代表するエンターテイナーではありますが、吾郎ちゃんや中居君にソロのパートは危ないとNHK関係者であればだれでも感じているにもかかわらず、視聴率を維持する為には最後に持つてこざるを得ない。

これは原発は大地震や津波、テロの標的として非常に危険と日本人であればだれでも感じているにもかかわらず、経済を維持する為には30年、50年使わざるを得ないという発想と実は根っこは同じだと思ひます。

かといってこのことを簡単に非難できるかというと、我々の作業現場の安全管理においてもふと無意識に同じようなことを何かやっている可能性はあります。

すべての人がそれぞれの持ち場で意識すべき共通の根深きテーマだと思ひます。

『WAR IS OVER, IF YOU WANT IT!』

(外の世界で起こっていることは、内側に起因している)

ジョン・レノンの名言です。21世紀の禅語大賞受賞間違いなし！です。

矢面に立っている政治家を非難して時間をつぶす前に、各々日々の生活に自覚的に生きて、三步進んで二歩下がっても、一步前進を良しとするカラッと明るい昭和のガンバリズム、水前寺清子的2012年にしたいと思ひます！

感謝！羽原篤史



水前寺清子 『三百六十五歩のマーチ』

しあわせは歩いてこないだから歩いてゆくんだね～ 一日一步 三日で三步三步進んで二歩さがる～ 人生はワン・ツー・パンチ 汗かきベそかき歩こうよ～あなたのつけた足あとうんにゃ～きれいな花が咲くでしょう～腕を振って足をあげてワン・ツー！ワン・ツー！休まないで歩け～！それワンツーワンツー！！